

ソーシャルフットボール関西大会 2018

報告書



平成30年7月21日

1) 開催概要

1. 目的

精神障がい者のフットサル活動を普及・推進し、競技力向上を図るとともに、フットサルを通して人と繋がり、生きることの素晴らしさを共感することを目的とする。

2. 主催

NPO 法人日本ソーシャルフットボール協会

3. 共催

一般社団法人大阪ソーシャルフットボール協会

4. 後援

一般社団法人兵庫県サッカー協会、一般社団法人兵庫県精神保健福祉士協会、公益社団法人兵庫県精神福祉家族会連合会

5. 協力

一般社団法人明石サッカー協会、公益社団法人兵庫県柔道整復師会、兵庫県メンタルケアフットサル連盟、株式会社 RecoRo、高槻市精神障害者スポーツクラブWEARE、インクルーシブフットボールクラブ Haif Time、まつむら鍼灸整骨院

6. 協賛

ニューバランスジャパン、株式会社伊藤園、株式会社岸和田スポーツ、シュライカー大阪、デウソン神戸、MIOびわこ滋賀フットサルクラブ、LUZ e SOMBRA

7. 運営

ソーシャルフットボール関西大会実行委員会

8. 日時

2018年7月21日(土) 9:00~17:00

9. 会場

兵庫県立障害者スポーツ交流館(兵庫県神戸市西区曙町 1070)

10. 参加費 10,000 円

11. 参加資格

日本ソーシャルフットボール協会（JSFA）の加盟チームであること。

参加選手は次の全ての条件を満たす者とする。

- ① 平成30年1月1日現在13歳以上の精神障がい者。
- ② 精神障がい者（ア～ウのいずれか）
 - (ア) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条の規定により、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。
 - (イ) 障害者総合支援法の自立支援医療制度を利用している者。
 - (ウ) 精神科を継続的に受診しており、主治医より通院証明書を発行してもらえる者
- ③ 精神障害者福祉手帳所持者、または自立支援医療を受けているなど精神障害であることを証明できる者。

12. 参加チーム

6チーム

13. 試合形式・組み合わせ

予選リーグ、決勝トーナメントで勝敗を決する。

14. 安全管理及び保険

大会事務局及び主催者側では保険加入しないため、各自または各チームで必ずスポーツ保険等に参加すること。また怪我の対応のため、各チーム応急処置ができるように準備をしておくこと。

15. 競技規則

競技規則については、日本サッカー協会のフットサル競技規則に準拠する。しかし、以下の点については、日本ソーシャルフットボール協会（以下 JSFA）の定める特別ルールを採用し実施する。

16. その他

報道等の取材・写真撮影等について

記録・大会報告資料等を作成するため、写真撮影を行う予定としている。また、報道機関等の規制も行わない。報道等の取材・写真撮影等があることを事前に選手・関係者に周知し了解をえておくこと。

17. 問い合わせ

第6回ソーシャルフットボール関西大会実行委員会事務局

〒651-2181 兵庫県神戸市西区曙町 1070 兵庫県立障害者スポーツ交流館内

担当 谷村 敦史

mail:aan52830@corp.odn.ne.jp

2) 結果

- 1位 おこしやす京都（京都府）
- 2位 YARIMASSE 大阪（大阪府）
- 3位 FCウエノ（京都府）
- 4位 INTERVALO 大阪（大阪府）
- 5位 滋賀ラクーンドックス（滋賀県）
- 6位 兵庫県選抜（兵庫県）

試合結果

◎1ST ROUND （12-3-12 RUN）

【勝点 勝ち：3点 引き分け：1点 負け：0点】

●グループA

	京都	ウエノ	滋賀	勝点	得点	失点	得失点差	順位
おこしやす京都		10-0	5-0	6	15	0	15	1
FCウエノ	0-10		4-2	3	4	12	-8	2
滋賀ラクーンドックス	0-5	2-4		0	2	9	-7	3

●グループB

	Y大阪	I大阪	兵庫県	勝点	得点	失点	得失点差	順位
YARIMASSE 大阪		1-0	3-0	6	4	0	4	1
INTERVALO 大阪	0-1		3-2	3	3	3	0	2
兵庫県選抜	0-3	2-3		0	2	3	-1	3

◎5位6位決定戦 (12-3-12 RUN)

A3位 滋賀ラクーンドックス VS B3位 兵庫県選抜

○ 1 - 0 ×

◎3位4位決定戦 (12-3-12 RUN)

A2位 FCウエノ VS B2位 INTERVALO大阪

○ 1 - 1 × (PK3-1)

◎1位2位決定戦 (12-3-12 RUN)

A1位 おこしやす京都 VS B1位 YARIMASSE大阪

○ 3 - 1 × (1-1、延長2-0)

3) 収支報告

ソーシャルフットボール2018関西大会 収支報告書(当日分のみ)

収入総額	¥60,000
支出総額	¥60,000
差引残高	¥0

収入の部

参加費	60,000	10,000×6チーム
計	60,000	

支出の部

トロフィー	4,924	カップ1,120円×3個、文字加工200円×3個、送料600円、税364円
表彰状	826	
ラインテープ	8,176	
食事代	6,000	
飲料費	644	
審判謝礼	30,000	5,000円×6名
次年度繰越金	9,430	
計	60,000	

○ 協賛物品

会社名	協賛物品
ニューバランスジャパン	マーカーコーン
伊藤園	飲料水
DUELO	プラスチックシャツ 2 枚
岸和田スポーツ	ランドリーバック
(株) ワールドネットワーク	maruba 雑貨セット
シュライカー大阪	ブランケット 2 枚、タオルマフラー 2 枚、観戦チケット
デウソン神戸	プラスチックシャツ 10 枚

4) 救護報告

派遣トレーナー：一般社団法人兵庫県柔道整復師会より 2 名派遣

活動場所：アリーナ内本部審判席後方に 2 台

ベッド設置 衛生材料準備 記録表記載

活動内容：慢性痛、疲労回復コンディショニング、外傷処置テーピングとケア等

番号	年齢	チーム	主訴	評価処置	
1	25	Y 大阪	右足関節捻挫	テーピング	
2	28	FCウエノ	左足関節捻挫	アイシング・テーピング	
3	25	Y 大阪	右大腿部打撲	アイシング・テーピング	
4	48	滋賀	右第 2・3 指 DIP 捻挫	テーピング	
5	35	滋賀	右下腿上部挫傷	テーピング	
6	31	Y 大阪	右下腿筋肉痛	コンディショニング	
7	38	I 大阪	頸部捻挫	安静指示	
8	31	京都	右関節捻挫	テーピング	
9	28	I 大阪	頭部打撲	アイシング・安静指示	

以上 9 名の処置、指導管理を行った。

5) 運営スタッフ

大会委員長	真庭大典
大会副委員長	岩根達郎
実行委員会	ソーシャルフットボール関西大会実行委員会（高野隼・田淵誠・西川万志・竹中崇史・池田健太郎・谷村敦史・吉田匡孝・平山惣一）
救護	公益社団法人 兵庫県柔道整復師会 関西ソーシャルフットボール実行委員会
審判委員長	一般社団法人兵庫県サッカー協会
競技委員会	大島誠・坂井大吾
事務局・会計	兵庫県メンタルケアフットサル連盟
運営	ソーシャルフットボール関西大会実行委員会 一般社団法人 大阪ソーシャルフットボール協会
各試合係委員	各チームより選出

6) 大会風景



ご寄付の御礼

ソーシャルフットボール関西大会を開催するにあたり、クラウドファンディングを通じて多くの方からご支援を頂きました。おかげをもちまして、大会を無事成功させる事が出来ました。皆様のご支援に関西大会実行委員会及び大阪ソーシャルフットボール協会一同、厚く御礼を申し上げます。

□■□ ご寄付頂いた方々（50音順） □■□

株式会社アロンジ様、株式会社プレイン様、秋本千恵美様、岩本昌英様、岡田隆寛様、加藤宏明様、金川善衛様、川口慧大様、川崎行基様、木戸勝様、木納潤一様、久米知代様、小泉優様、坂井真樹子様、辻本哲士様、飛田秀樹様、富山直輝様、中川稔様、中山剛様、芳賀久和様、原未来様、HIROSHI HINOUE 様、伏田善祐様、藤本健太郎様、松村正隆様、物部和樹様、山岡洋祐様、山崎大義様、山本浩様